

# 1次元 KPZ 界面成長モデルの揺らぎ

笹本 智弘

千葉大学 理学研究科 基盤理学専攻 数学・情報数理学コース

## Abstract

1次元の多核成長モデルは、単純なルールで定められる界面成長のモデルであり、KPZ(Kardar-Parisi-Zhang) 普遍性クラスに属する事が知られている。

近年このモデルと組合せ論やランダム行列理論、自由フェルミオン理論との関係が見出され、その揺らぎについての性質が初期条件や境界条件への依存性まで含め詳しく調べられるようになってきている。本講演では、これらの一連の進展について述べる。時間があれば他のモデルとの関係などについても話したい。

## Reference

- [1] T. Sasamoto, J. Stat. Mech. (2007) P07007.
- [2] A. Borodin, P. L. Ferrari and T. Sasamoto, arXiv:0707.4207, to appear in Comm. Math. Phys.